

グループホーム ベてる村山

ベてる村山はアパート形式のグループホーム(サテライト型)で武蔵村山市内にあります。入居期間は概ね3年で、定員は10名です。対象は精神科への通院・服薬が出来ていて、作業所などを含めて就労している人です。交流室がありますので、他の入居者と談話したり職員に相談したり出来ます。週2回夕食会を行っているほか、レクリエーションも行っています。

お問合せ先 042-531-5810

グループホーム メゾンユトリロ

メゾンユトリロは杉並にある寮のような共同生活型のグループホームで、入居期間は概ね3年で定員は12名です。対象は精神科への通院・服薬が出来ていて、作業所などを含めて就労している人です。夜間は当直の職員がいますので安心してお過ごしになれます。ショートステイ室もごございます。

お問合せ先 03-3399-8373

生活訓練施設 たまこヒルズ

当施設は、定期的に通院されている方、退院後もない方を対象にリハビリテーションを行う施設です。日中は、プログラムが組まれていて、参加を通じて生活リズムの改善、基礎体力の回復、対人面の向上などを目指していきます。

食事や生活リズム・服薬といった「健康面」、着替えや掃除・金銭管理といった「生活面」、挨拶や友達づくりといった「対人面」など、その方の課題や目標に応じて生活訓練を行っています。また、夜間帯は当直の職員を置いておりますので、安心してお過ごしいただく事ができます。

たまこヒルズでは、入居者を募集しています。将来、一人暮らしがしたい、自立した生活を実現したい、でもいきなりでは不安がある・・・という方はステップアップの場として、たまこヒルズをご利用ください。

お問合せ先 042-567-5502

地域活動支援センター お伊勢の森

地域活動支援センター お伊勢の森は武蔵村山市の委託で運営している精神に障害のある方の相談窓口です。精神の障害の事でお困りの方(本人・家族など)のご相談に対応しています。訪問や窓口同行なども必要に応じて行っています。日中の居場所としてのご利用も出来ます。利用要件は精神科へ継続して通院している事・服薬が守れていること・ルールやマナーを守ってご利用いただけることです。ご利用を継続的に希望の方は登録していただいています。登録までは試験利用期間があります。

開館時間 火～金 10時～20時 月曜・祝日は休館 土・日 10時～18時

お問合せ先 042-567-7256

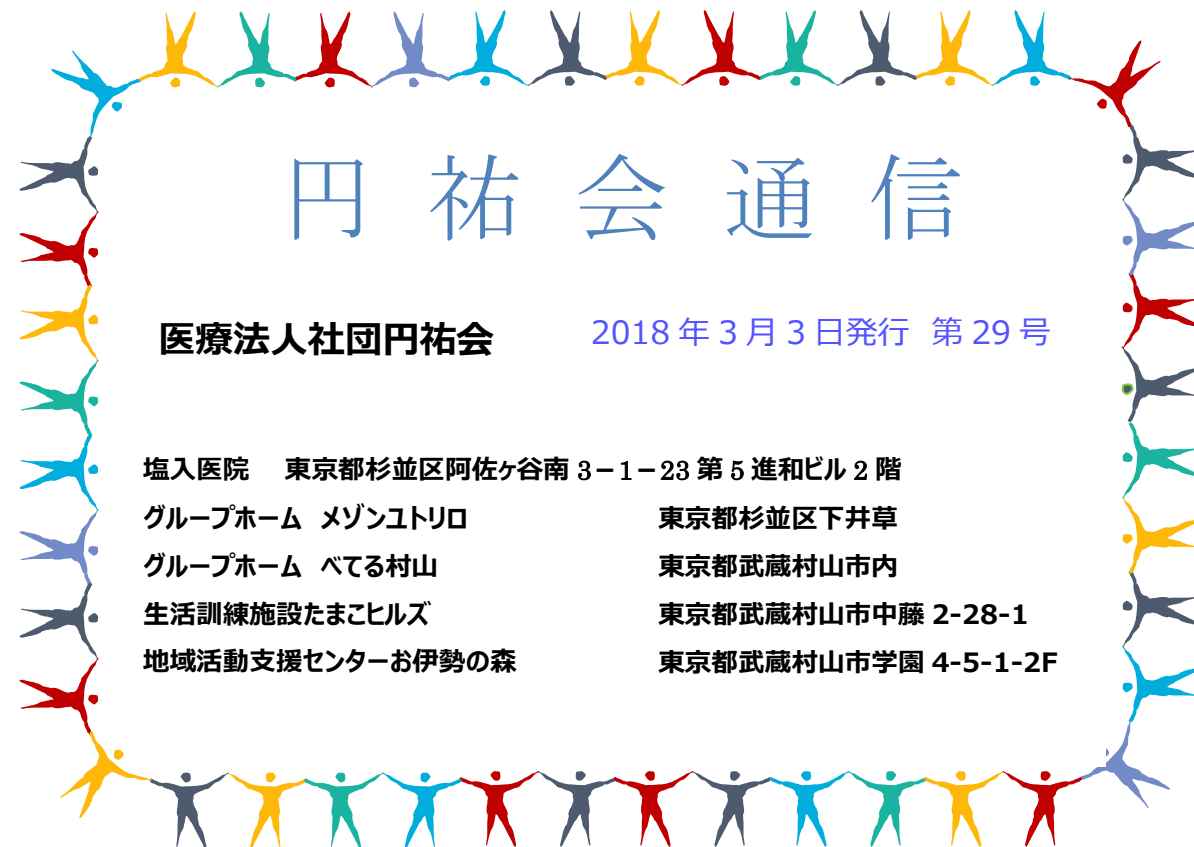
編集後記

この冬はとても寒く、朝起きるのが辛い日々がつづきましたが、ここ最近はそのも和らいできており春ももうすぐそこまで来ているのかなと感じております。これから色とりどりの花を咲かせますが同時に鼻もむずむずする頃、今年のスギ花粉は去年の2倍らしいので今から戦々恐々としております。

塩入医院

杉並区の大通りに面したクリニックです。「初期治療から社会復帰まで」をモットーに外来診療とデイケアによるリハビリテーション、社会復帰に力を入れています。(診療は予約制です)

お問合せ先 03-6915-1061



円祐会通信

医療法人社団円祐会

2018年3月3日発行 第29号

塩入医院 東京都杉並区阿佐ヶ谷南3-1-23 第5進和ビル2階

グループホーム メゾンユトリロ

東京都杉並区下井草

グループホーム ベてる村山

東京都武蔵村山市内

生活訓練施設たまこヒルズ

東京都武蔵村山市中藤2-28-1

地域活動支援センターお伊勢の森

東京都武蔵村山市学園4-5-1-2F

たまこヒルズの退所後の生活は。。。

たまこヒルズでは宿泊型自立訓練と自立訓練(生活訓練)のサービスを提供しています。宿泊型訓練は文字通り夜間から早朝を対象にしたサービスであり、たまこヒルズの1室に居住して自立訓練を行うことです。基本的には日中はたまこヒルズの日中の自立訓練に参加して一定の生活能力を身に付けていただき、その後は外部の作業所や仕事に通われている方もいます。期限は基本的には2年となっており、長期入院の場合は3年まで可能な場合があります。限られた時間の中で、利用者自身が地域生活に必要なことに気付いて、取り組む事が大切になります。

たまこヒルズの退所後はグループホームに入居される方、地域で単身生活される方がいます。単身生活の場合は、居住地にサービスを申請し、自立訓練による訪問のサービスを使うことも可能です。またショートステイを使っただくことで地域生活の不安を減らす事も出来ます。日中活動の場所としては、一般のお仕事に就かれる方、福祉的就労(作業所)に通われる方、たまこヒルズに通われる方などに分けられます。

作業所にも種類があり、就労に近く一定の工賃が出る所とあくまでも居場所として日中を過ごす場所もあります。たまこヒルズは作業所等に通われる方も土日などの休日の活用として通っている方もいます。日曜日について地域の通所者の多い地域には送迎の車を出しています。そうしたサービスを組み合わせることできさまざまなニーズに対応しながら、地域での生活の継続すること、日中活動を継続しステップアップするということを目指しています。利用者の中には地域で生活していく中で、少しずつ、または急激に生活が破たんしていくことがあります。そうしたことが起きることも踏まえて皆さんに適切なサービスを導入し活用して頂くことが地域生活を継続させるうえで重要だと考えています。いつでも支援できるサービス環境の整備と支援者にヘルプを出せる信頼関係の構築が大切になります。

たまこの森だより

2018年3月発行

お問合せ先

〒208-0001

東京都武蔵村山市中藤 2-28-1

Tel042-567-5502 Fax 042-567-5793

E-mail tamahill@abelia.ocn.ne.jp

入居者募集中

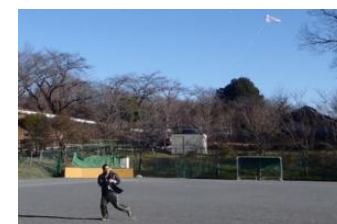
たまこヒルズは、通院中の方や、退院間もない方を対象に生活訓練を行う施設です。日中はプログラムが組まれており、参加を通じ生活リズムの改善、基礎体力の回復、対人面の向上などを目指します。入所された方には担当が付き、「健康面」「生活面」「対人面」「社会生活」などその方の課題や目標に応じて自立生活に向けたサポートを行います。将来ひとり暮らしがしたい！自立した生活を実現したい！・・・でも少し不安があるという方は、お気軽にお問合せ下さい。

<プログラム一例>

	A M	P M
月	ドライブ散歩	音楽
火	ゲーム・座談会	ソフトボール
水	美術	テニス
木	書道	ストレッチ
金	作文	バレーボール
土	FREE	散歩・テニス
日	FREE	散歩・テニス

たまこの年末年始

たまこの年末年始は毎年イベントがいっぱいです。12/24のクリスマス会から30日の横浜中華街外出、元旦は初詣やおせち、正月飾り作り、9日は餅つき大会があるなどイベントが盛りだくさん。参加された方も楽しんで頂けたようで年越しでショートステイを利用されるかたも。今年もたまこでは皆さまに楽しんで頂けるようなイベントを企画していきたいと思ひます。



お伊勢の森ギャラリー



絵はお伊勢の森の登録者の方が描いてくれました！

普段、お伊勢の森のオープンスペースは通所者の皆様にわりと自由に活用していただけているかと思ひます。絵を描いたり、TVを観たりパソコンを利用したり誰かと雑談したり…皆さんのニーズに合ったオープンスペースをこれからも運営していきたいと考えております。



R・Mさん

T・Kさん

「避難行動要支援者の避難支援」のこと、知っていますか？

武蔵村山市では、障害をお持ちの方や独り住まいの高齢者など、災害時に自力で非難することが困難な方を対象に、「避難行動要支援者名簿」を作成しています。この名簿は、本人の同意を得られた場合には、平常時から警察や消防などの支援関係者に情報が提供され、災害時に円滑で安全な避難支援を行なうための手助けとなります。支援関係者に対しては、名簿に関して守秘義務が課せられております。災害時に自らの安全を守るため、もしまだの方は考えてみてください。

地域活動支援センター お伊勢の森

2017年12月 忘年会しました！

毎年恒例のお伊勢の森忘年会では、10名のメンバーさんが参加され、鶏の丸焼き、ミートローフ、ケーキなど職員お手製の豪華な食事を皆でいただきました。食後はチーム対抗のゲーム大会や



メンバーさんによる手品の鑑賞などで、大いに盛り上がりました。最後は2017年を振り返って、一人一言ずつ話して終了となりました。皆笑顔で年の最後を迎えられたことを、嬉しく思う一日でした。



メンバーインタビュー

「プログラム、参加してみてどうだった？」

粘土プログラム
皆同じテーマで作ったのですが、それぞれ個性的で、一つも作品が被らないのが面白かったです

ストレッチ
血行が良くなるのか、終わった後は身体がポッカポカ♪また参加したいです

みんなで唄おう
大きな声で唄うとスッキリしますよ♪



昼食作り
それぞれ得意な作業を担当するから、料理の仕上がりがいい！いつも美味しいです

バレーボールの練習試合を行いました。

1/19 東大和市民体育館であとりえとんとバレーボールの練習試合を行いました。15点マッチ、25点マッチを2試合ずつ行いましたが結果は残念ながら全敗でした。終了後振り返りを行い、普段通りのプレーが出来なかったこと、つなぐ、守る、レシーブ強化等今後の課題が見えてきました。今年は夏にまた大会があるのでそれに向けてまた頑張りましょう！



雪の日

1月22日に降った大雪はたまこに続く道も雪で覆われてしまったためみんなで雪かきをしました。皆さんの頑張りの甲斐あって1時間程で車が通れるくらいになりました。参加された皆さんありがとうございました。



避難訓練

たまこヒルズでは年に4回の避難訓練を行っております。地震などの災害にあった際に適切に避難行動をとることが出来るように他施設より多めに設定しております。12月に行った訓練では、非常時を想定した炊き出しを行い、限られた水の量でビーフシチューを屋外で作ってみました。非常用のパンの試食も兼ねたのですが、なかなか美味しいと利用者さんからも評判でした。



行事予定

たまこは今春も多数のイベントが企画されております。みんなたまこへ急げ(笑)

- 2月：福祉大相撲（両国）
- 3月：梅見
- 4月：花見
- 5月：テニス大会(予定)

メゾンユトリロ

年末年始

ユトリロの年末は、忘年会に歓送迎会を兼ねて、少し豪勢にフランス料理を皆で頂きました！



年始は、希望者でお寿司を食べに行ったり、初詣やカフェに出かけたり思い思いにのんびりと過ごすことが出来ました…。

その他

ユトリロ館内で今まで使われていなかったキッチンを綺麗にして交流の場を増やせたらと考えております…



グループホーム べてる村山

べてる村山の近況

今年もべてるの仲間全員で無事新年を迎えることが出来ました。そして元日は希望者と初詣に行っておりました。天候に恵まれ、気持ちよくお参りすることが出来ました。その後は大雪が降るなど、活動しづらくなる日もありましたが、みなさん元気な乗り越えられたようです。この調子で楽しい春を迎えられればと思います。

今後の予定

3月に立川防災館での避難訓練を行う予定です。今回は、べてるでの訓練は初体験という方が多くいらっしゃいますので、初心に戻り気を引き締め直して行うつもりでおります。また、徐々に暖かくなりだしてはいますが、インフルエンザが流行しているようなので、体調を崩さないよう支援をしていきたいと思っております。

「入院や生活訓練が終了したけど、地域生活を送るのはまだ自信が持てない」という方に対し、単身生活の体験の場を提供している施設です。3年の入居期間の中で、仕事や家事など日々の活動をこなし、自立した生活を目指します。また、べてる村山では「1日1回職員と顔を合わせることを原則」としており、その日の活動を一緒に振り返り話し合うことで、安心して活動できるよう支援しています。定員は10名ですが、利用の相談は随時受け付けております。お気軽にご相談ください



※こちらが交流室です。ここで食事やミーティングなどを行っています。

